

### 旅行取扱状況の概観（平成 18 年 5 月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行では学生団体は前年を大幅に下回ったが、一般団体が取り扱い好調で前年実績を大きく超えたため、団体計は 2 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。企画旅行は、ゴールデンウィークの需要を取り込んだホリデイの好調により前年実績を大きく上回った。個人旅行もゴールデンウィークの個人需要を取り込み、前月に続いての前年比プラスと堅調に推移した。海外旅行合計は、団体旅行、企画旅行の好調により、前年比 111.3%と前年実績を大きく上回り、2 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体は取り扱いに伸びがみられず不振、学生団体も取り扱い低調で前年実績に届かず、このため団体計は前年実績を下回り取り扱い低調が続いている。企画旅行は、メイトの取り扱い増加により 6 ヶ月ぶりに前年実績を上回り好調。個人旅行の取扱いは、航空券は堅調に推移し前年比プラス、JR 券も前年並実績を確保したが、宿泊券の取り扱い低調、前年愛知万博入場券取り扱いの反動もあって、個人旅行計は前年実績に届かなかった。国内旅行合計は、団体旅行の不振が影響し前年比 98.3%と前年実績を下回る結果に終わった。

外人旅行は前年比 87.3%と取り扱い不振が続き、3 ヶ月連続の前年比マイナス。

5 月の総取扱額は、海外旅行の好調が大きく全体を押し上げ、前年比 102.3%と 6 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

#### 1. 海外旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数が急増し大きく前年実績を超えたが、学生団体は前年大型団体取り扱いの反動もあって前年実績を大幅に下回った。方面別の取扱いは、台湾、香港、シンガポール、マレーシア、タイ（前年地震の反動）といったアジア地区、ならびにアメリカ本土、オセアニアが好調であった。中国は前年比 170%と回復をしたが、16 年比では 82%の状況である。

##### (2) 企画旅行

ホリデイは、ゴールデンウィークの取り扱いが好調で、取扱額前年比で 113.3%と 2 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。方面別取扱いは、韓国、台湾、香港、およびシンガポール、マレーシア、タイ（前年地震の反動）が好調であった。中国は前年の倍増と回復をしてきた。

#### 2. 国内旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取り扱いが前年愛知万博取り扱いの反動も加わって低調、その他団体も取り扱いが低落し、前月に続いての前年比マイナスとなった。学生団体は、修学旅行以外の取り扱いが鈍化したため前年実績に達せず 6 ヶ月連続の前年比マイナスと低調な状況が続いている。

##### (2) 企画旅行

メイトは、遠距離商品を中心に各方面とも取り扱い好調で、取扱額前年比 106.1%と 6 ヶ月ぶりに前年実績を上回った。商品別の状況をみると、北海道、九州、沖縄方面、および関西地区商品の取り扱い好調が目立った。

（以 上）